



# この力に人は勝てるのか

## 「被災地を見る・歩く・考える」行動(全教) ③ フクシマを現地で知る

全教(全日本教職員組合)が9月23、24日に行った、福島県の原発事故被災地へのフィールドワークの報告の3回目です。

【東日本大震災原子力災害伝承館】「震災遺構浪江町立請戸小学校」

震災・津波被害の大きさを



震災遺構となった浪江町立請戸小学校。1階部分は柱のみ残している。紙面左側の写真はすべてこのもの。=9月24日、浪江町



壁に設置されていた配電盤が引きはがされて横方向に倒れている。

きさを知らずに行き、福島県の原発事故被災地へのフィールドワークの報告の3回目です。



【東日本大震災原子力災害伝承館】「震災遺構浪江町立請戸小学校」

震災・津波被害の大きさを

備えられた請戸小学校は、建物そのものが貴重な資料で、中に入って歩いて回ること



時計がぐにやりと曲がっている



色々の原型をとどめていないものが積み重なっている。

で、地震・津波の威力の凄まじさを、とても深く体感できるものでした。給食室が瓦礫の山となり、手洗い場の壁は剥げ落ち、教室は黒板と後のロッカーだけが残っていました。ロッカーは泥で汚れたままで、ランドセルも流されてしまっただろうと思うと、胸が締め付けられました。



玄関から2階に昇る階段。津波は踊り場まで一気に押し寄せた。写真上部に写っている表示板が、津波の高さを示している。

11月3日木曜日「文化の日」の2022年度長崎県教育研究会は、コロナ感染の状況から、オンラインでの開催となりました。高教組会館での参加者6名とオンラインでの参加者4名、合計10名が参加しました。開会行事では、鍛冶執行員長の挨拶があり、勝村教文部長が「人事評価と賃金リンク」「定年制延長」「教職員の未配置」「長時間過密労働・労働環境悪化」など県

### 長崎県教育研究会 アイデアとノウハウを共有

内的情勢を中心に基調報告を行いました。レポート報告会では7本のレポートが報告されました。長工全の今泉宏さんから平和学

各種アンケートや調査結果の活用、本部書記の佐藤さんからパワハラに関する裁判の報告、波佐見の勝村さんから、問題行動に関わ

これらを見学して思うのは自然の力の巨大さです。人間など遠く及ばない力を自然は持っている。原子力は科学の成果ですが、それを果たして人間は安全に使いこなしていけるのか。特に日本のように、大きな地震、津波が、いつでもどこでも襲ってくるような地理的環境で、原発をいくつも運転しているのは、しかも老朽化したものを使い続けるのは、世界的にもとても危険な行為のように思えます。「原発大災害、次もまた日本」との言葉も聞きました。次も「想定外」と言いそうな方々にすべてを任せしてしまうのはならないと、改めて思いました。(諫早商業分会・岡山)

11月1日、臨時県議会において①エネルギー・食料品等の物価高騰対策に要する経費②国の「全国旅行支援」予算の追加配分に伴う経費を補正予算編成の柱に据えた89億3100万円の22年度一般会計補正予算案が成立しました。来年度から県立学校空調経費は公費で負担することになっていますが、知事が重点テーマにあげる「子育て支援」関連の施策として、補正予算の中に前倒しで1億3330万円が組み込まれました。他に、私立学校・専修学校等にエネルギー等物価高騰の影響を受けている公共性が高い施設事業者に対して、電

### 臨時県議会22年度補正予算 学校空調経費の公費負担が前倒しで実現

込まれています。全体の中で最もウェイトの高い、34億67百万